

93歳セツの



90歳から始まった、
創作活動は、



新聞ちぎり絵原画展



木村セツ

初の大規模個展、開催!

2022 4/28 [木] ▶ 5/22 [日]

文化フォーラム春日井・ギャラリー

開館時間=10:00-17:00 (入場は16:30まで) 休館日=月曜日

入場料=一般 300円/高校生以下 無料/障がい者・介護者(付添人) 無料 ※前売券はございません。

主催・問合せ=公益財団法人かすがい市民文化財団 TEL.0568-85-6868

協力=里山社 後援=中日新聞社

93歳セツの新聞ちぎり絵原画展

何かを始めるのに、遅すぎることはない。

89歳で夫を亡くし、2019年1月、90歳から新聞ちぎり絵を始めた、奈良県桜井市在住の木村セツさん。作品と人生の聞き書きを収録した作品集『90歳セツの新聞ちぎり絵』『91歳セツの新聞ちぎり絵 ポストカードブック』は、メディアでも取り上げられ大きな話題を呼んでいます。

日常にあるものを題材に新聞紙を使って生み出す作品は、作る喜びに溢れ、精緻なのにユーモラス。セツさんの作品には、戦前生まれで昭和を駆け抜けた、90年分の人生が詰まっています。本展では、作品集の世界観をそのままに、セツさんの言葉とこれまでに作り貯めた約120点の原画を一室に展示します。生活を慈しむことの大切さと、おばあちゃんと一緒に過ごした日々の懐かしさ、そして、いくつになっても、ものを作る喜びを呼び覚まさせてくれる、セツさんのちぎり絵と言葉の数々をお楽しみください。



木村セツ(きむら・せつ) 新聞ちぎり絵作家

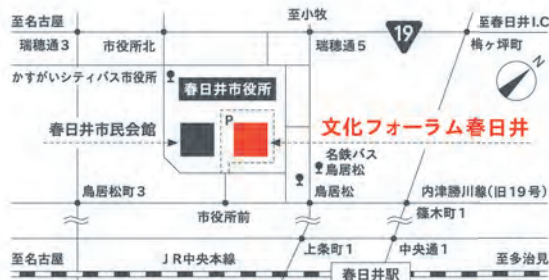
1929年(昭和4年)1月7日奈良県桜井市生まれ。戦争中は学徒動員により、紡績工場で働く。戦後、銀行に勤めるが、家庭の事情で退職。3人の子供を育てながら、養鶏、喫茶店、農業などの仕事に励む。2018年末に夫が他界。2019年元旦から長女の勧めで新聞ちぎり絵を始め、才能が開花。ツイッターアカウントはフォロワー数6.5万人以上(2022年3月現在)。作品集『90歳セツの新聞ちぎり絵』『91歳セツの新聞ちぎり絵 ポストカードブック』(いずれも里山社)、セツの孫でイラストレーター、漫画家の木村いこのコラボ絵本『おてがみであいましょう』(理論社)が好評発売中。



【表面】「卵かけご飯」2021年 【裏面】①「うるめいわし」2020年 ②「中華そば」2019年 ③「お弁当」2019年 ④「バック寿司」2020年 ⑤「ブロッコリー」2019年 全て©Setsu Kimura

2022 4/28 木 ▶ 5/22 日
文化フォーラム春日井・ギャラリー

【開館時間】10:00-17:00(入場は16:30まで) 月曜休館
【入場料】一般300円/高校生以下無料/
障がい者・介護者(付添人)無料 ※前売券はございません。



○JR中央本線「春日井駅」北口より
・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ
・徒歩20分
・無料レンタサイクル5分(日・祝休み)

○かすがいシティバスでお越しの方
「市役所」下車すぐ

○駐車場無料
駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せをご利用ください。

公益財団法人
かすがい市民文化財団

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井
TEL:0568-85-6868 WEB:www.kasugai-bunka.jp

「施設利用ガイドライン」による感染防止対策を行っています

○新型コロナウイルス感染予防のため、会場内では人との間隔を空けてください○会場内の混雑状況により、入場制限を行う場合があります○発熱やせき等の症状が認められる場合は、入場をお断りする場合があります。ご来場前の検温にご協力ください○新型コロナウイルスの感染状況によっては、展覧会が中止または延期となる場合があります○最新情報は、かすがい市民文化財団ホームページをご覧ください

